

1 目的

「リニア駅周辺整備基本計画」では、リニア長野県駅が広域交通拠点としての役割を果たすため、リニアとJR飯田線の相互を円滑に乗り換えられるよう、新駅の設置を検討している。また、長野県が策定した「長野県リニア活用基本構想」においても、伊那谷地域の産業振興と暮らしの魅力向上、広域観光の推進のために、地域の生活拠点や観光拠点などを結ぶ鉄道と道路の存在は欠かせないとし、JR飯田線の活用を基盤整備の方針の一つに掲げている。

そこで、リニア中央新幹線と飯田線の利用者の利便性を高めるため、請願駅として新駅を整備することについて検討・協議を進める。

2 計画箇所

座光寺上郷道路・土曾川付近（別紙）

- リニア駅（改札口）からの移動距離が短く、平坦であること。
- 新駅整備にあたり、移転家屋が生じないこと。
- 県道でリニア駅・新駅間を移動でき、新駅のための新たな道路整備が必要ないこと。

3 想定される施設の概略

(1) 概要

- 駅形式 : 棒線停車場（1面1線形式）
- 線路数 : 単線（すれ違い機能なし）

(2) 概算事業費（飯田市推定）

- 新駅建設費 : 5～6億円程度
- 歩道シェルター整備費 : 2億円程度

4 今後の予定・課題

(1) 事業手法・財源の検討

- 国庫補助制度の活用を踏まえて事業手法や財源の検討

(2) JR東海との協議・調整

- 新駅設置は既設鉄道施設の改修等を伴うことから事業者との協議が必要



